

礼 拝 順 序

| | | |
|---------|-------------------------------|--------|
| | | 司 式 |
| | | 奏 楽 |
| 前 奏 | | |
| 招 詞 | 詩編 100:1-3 | |
| 讚 美 歌 | こどもさんびか 26 | |
| 入 読 詩 編 | こどもこうどくぶん 11 | |
| 聖 書 | 新約 1ヨハネ 5:1-5 (p. 446 or 515) | |
| 祈 禱 | | |
| 信仰告白 | 日本基督教団信仰告白 | |
| 説 教 | 世に打ち勝つ | 秋吉隆雄牧師 |
| 祈 禱 | | |
| 讚 美 歌 | こどもさんびか 120 | |
| 聖 餐 式 | 76 (1. 3. 5) 配餐当番 | |
| 献 金 | こどもさんびか 17 | |
| 主の祈り | 93-5-B | |
| 頌 栄 | こどもさんびか 15 | |
| 祝 禱 | | |
| 後 奏 | | |

◇次 週 礼 拝◇

説 教 福音の初め
 聖 書 イザヤ 40:1-8
 マルコ 1:1-8
 讚美歌 172 363 278 191 28
 交読詩編 46:1-12

◇本日の集会◇

求道者会 礼拝後 於 談話室
 初めて教会に見えた方、求道者
 (洗礼を受けておられない方) は
 お集まりください。

クリスマスの飾りの後片付け
 ご協力ください。

◇報告とお願い◇

次主日礼拝後、定例役員会をいた
 します。

◇今週の誕生者◇

◇集 会 状 況◇

| | | | | |
|----------|-------|----|----|----|
| | | 男 | 女 | 計 |
| 教会学校子供 | 12/26 | 3 | 18 | 21 |
| 大人 | 12/26 | 9 | 7 | 16 |
| 主 日 礼 拝 | 12/26 | 29 | 54 | 83 |
| 壮年会クリスマス | 12/26 | 20 | 4 | 24 |
| 青年会クリスマス | 12/29 | 9 | 9 | 18 |

◇個 人 消 息◇

◇牧師室より◇

新年おめでとうございます。
 「しかし、来るべき日に、わたし
 がイスラエルの家と結ぶ契約はこ
 れである、と主は言われる。すな
 わち、わたしの律法を彼らの胸に
 授け、彼らの心にそれを記す。わ
 たしは彼らの神となり、彼らはわ
 たしの民となる。」

エレミヤ書 31:33

外側から締めつける戦争準備
 と国民管理の諸法律が成立しまし
 たが、私たちの胸と心には、神の
 「平和と正義と愛」の律法が刻ま
 れています。外側からの法律は無
 力です。内側に記された神の律法
 に真の力があります。神の民に加
 えられた者として、この律法を生
 きる二千年でありたいと願ってい

週 報

2000年1月2日 降誕節第2主日

巻 20

40号

1999年度 教会主題

「互いに仕え合う」

聖句 兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。

ガラテヤの信徒への手紙 5章13節

- 目 標
1. 生活を整えて礼拝、諸集會を守る。
 2. キリストの体なる教会形成に参与する。
 3. 教会創立20周年記念に備える。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電 話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振 替 00290-4-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄

ます。あなたのこの年の歩みの上にイエス・キリストの導きと祝福を祈ります。2000年1月元旦

今年の私の年賀状です。

イスラエルはソロモン王の死後、南北に分裂し、北イスラエルは紀元前721年にアッシリアによって滅ぼされ、南ユダも587年にバビロンによって滅亡されました。エレミヤは南ユダの滅亡期に活躍した預言者です。国が減じる時、極貧を強いられ、人心は不安と恐れで荒廃の極みに達します。エレミヤは「身分の低い者から高い者に至るまで、皆、利をむさぼり、預言者から祭司に至るまで皆、欺く。彼らは、わが民の破滅を手軽に治療して、平和がないのに、『平和、平和』と言う。彼らは忌むべきことをして恥をさらした。しかも、恥ずかしいとは思わず、嘲られていることに気づかない。」と嘆いています。

エレミヤは、このような国家滅亡の危機的状況の中で「新しい契約」を預言しています。モーセを通して外側から与えられた「律法」を守って、神の祝福に与るという「古い契約」はもはや破綻してしまつた。内側から胸に心に「律法」

が刻まれ、神は我々の内にいます。それ故「神を信ぜよ」と教える必要もない。それは、神が人間の悪を赦し、罪を心に留めないからである。そのような「新しい契約」を立てられる日が来ると語っています。人間に全く絶望し、神からの一方的な救済しか望みえないと、うめくように語った希望の言葉だと思われまふ。

この「新しい契約」が主イエスの十字架と復活によって実現したと信じるのが、私たちのキリスト教信仰です。私たちの現在はエレミヤの時代ほどではないでしょう。しかし、偉い人々は不正と不義に走り、発覚しても責任を取ろうとはしません。自己制御できない不可解な犯罪や手抜き工事による事故が続出し、カルト宗教も流行しています。荒廃は目を覆い、希望を見出せません。この時、外側から国民を管理し、締めつけようとする諸法律が成立しています。しかし、それはエレミヤが預言したように無力でしょう。「平和と正義と愛」の律法を胸と心に刻み、罪と悪を赦される神が主イエスにおいて、共におられることを信じ、証したいと思ひます。